

交通事故

被害者遺族の無念 加害者の後悔



企画意図

毎年、3千人以上の人が交通事故で死亡し、その原因の6割を安全運転義務違反が占めています。中には、無謀ともいえる運転に巻き込まれ、死亡した人もいます。

言い換えれば、防ぐことのできる事故で命を失ったことになります。

残された遺族の怒りや悲しみは、はかり知れません。

そこで、こうした遺族の悲痛な叫びを映像化し、安全運転への願いを訴える教材を提案します。事故の原因をクローズアップし、ちょっとした油断や心のスキがいかにより多くの人を不幸にしているのかをしっかりと認識してもらい、絶対に事故を起こしてはならないという気持ちにさせる教材をめざしました。

上映時間 約19分 [C#2975]

DVD 66,000円 (税込72,600円) | 字幕版付き



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<https://www.toei.co.jp/edu/>

「安全不確認」で失った7歳の命

ドライバーの安全不確認によって、当時小学1年生だった息子さんを亡くした高田さん。息子さんが残っていた朝顔を「交通安全のシンボル」として広めることで、一人でも多くの命を救うきっかけとなることを願っています。



「ながらスマホ」で失った9歳の命

学校の教師を務める則竹さんは、ドライバーの「ながらスマホ」による運転が引き起こした事故によって、当時小学4年生だった息子さんを亡くしました。則竹さんは、「命の尊さ」を訴える活動が息子さんへの供養だと信じています。



「飲酒運転」で失った19歳の命

ドライバーの飲酒運転が原因で亡くなった鈴木さんの息子さんは、当時大学生になったばかりでした。無謀な運転によって死亡事故を起こしたにもかかわらず、加害者に対するあまりの刑の軽さから、鈴木さんは厳罰化を求める署名運動を行います。



加害者の後悔

自転車を運転していた被害者を飲酒運転による交通事故で死なせてしまった加害者。飲酒運転や危険運転に対して、他人事だと考えていたために起きた事故でした。



プロデューサー 笹谷将貴
監督・脚本 板垣雅和
撮影 平尾恭一 大谷和之
録音 安藤秀篤

音楽 水野砂江子
CG 石濱秀樹
ナレーター 大原崇

制作プロダクション 株式会社むさしの映像
企画・製作 東映株式会社
コンテンツ事業部門 教育映像部

予告編配信中!

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

2022年作品

- 本DVDは、ご購入いただいた官公庁（都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等）や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。
- 本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
 - ・テレビでの放映
 - ・ビデオオンデマンド等による配信
- 著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは、著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。
- DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。